

栃木県立栃木高等学校 囲碁将棋部の活動方針及び年間活動計画等

顧問名	◎水島 秀之、室井 和也、日野 直哉	
目標	◎部活動の実施にあたっては、生徒の安全を第一に考えて実施する。怪我等の防止に努め、生徒間の話し合いを重視する。 ◎県大会での優勝、関東大会、全国大会での入省を目指す。 ◎活動をとおして、生徒が心身を鍛え、充実した学校生活を送ろうとする主体的なたいどをやしなうとともに、生徒の学習意欲の向上や自己肯定感、責任感、連帯感の育成を目指す。 ◎部員全員の学業成績の向上を目指す。	
活動方針	◎生徒の健康管理に十分配慮し、適正な休養日を確保する。 ◎学校生活や授業等に支障のない範囲で、できるだけ短時間に、合理的でかつ効率的・効果的な活動を行う。 ◎県外大会宿泊等の際に、生徒の技術・競技力の向上と生徒間の生徒同士や生徒と教師等の望ましい人間関係の構築を目指す。	
休養日	◎原則として、毎週土曜日、日曜日、祝日を休養日とする。 ◎大会参加等で土曜日、日曜日の休養日が確保できなかった場合は、翌月曜日を休養日とする。 ◎長期期間中も、学期中に準じた扱いとする。 ◎8/11～8/18、12/29～1/3、3/29～4/3は、オフシーズンとする。	
活動時間	◎1日の活動時間は、平日は2時間程度として19時には完全下校とする。活動はできるだけ短時間で、合理的でかつ効率的・効果的に行う。 ◎定期試験初日の1週間前定期試験実施期間(最終日を除く)は原則として活動を行わない。ただし、当該期間においても、大会等参加の場合は、校長の了承を得て活動を実施することもある。	
月	参加予定大会等	その他
4月	◎27(土)～28(日) 全国高等学校将棋選手権大会栃木県予選	
5月	◎18(土) 文部科学大臣杯全国高校囲碁選手権大会栃木県予選	
6月		
7月	◎13(土)～14(日) 全国高等学校将棋竜王戦栃木県予選 ◎22(月)～24(水) 文部科学大臣杯全国高校囲碁選手権大会 ◎27(土)～28(日) 全国高等学校総合文化祭囲碁部門参加	
8月		
9月	◎14(土)～15(日) 関東地区高等学校文化連盟将棋大会栃木県予選	
10月	◎19(土)～20(日) 全国高等学校文化連盟将棋新人大会栃木県予選 兼 栃木県高等学校将棋新人大会	
11月	◎16(土) 栃木県高等学校将棋段位認定大会 栃木県高等学校総合文化祭囲碁大会 兼 栃木県高等学校囲碁新人大会	
12月		
1月	◎18(土)～19(日) 関東地区高等学校囲碁選手権大会	
2月		
3月		

栃木県立栃木高等学校 園芸部の活動方針及び年間活動計画等

顧問名	◎高木 巖、小泉 旬子	
目標	○花壇で春夏秋冬の草花を育成しながら、校内の植物を慈しむ。	
活動方針	○植物を通じて自然に親しみ、校内の癒やしの空間を演出する。	
休養日	○週6日	
活動時間	○金曜日の放課後1時間程度	
月	参加予定大会等	その他
4月	○花壇の整備	
5月	○花壇の整備	
6月	○花壇の整備	
7月	○花壇の整備	
8月	○花壇の整備	
9月	○花壇の整備	
10月	○花壇の整備	
11月	○花壇の整備	
12月	○花壇の整備	
1月	○花壇の整備	
2月	○花壇の整備	
3月	○花壇の整備	

栃木県立栃木高等学校 演劇部の活動方針及び年間活動計画等

顧問名	◎大類 太郎、大木 弘行、戸崎 敏嗣、大橋 秀人	
目標	○演劇活動を通しての自己表現力の向上 ○14年連続出場中の県大会出場の継続	
活動方針	○部員主体による創作、演出活動 ○各部員の個性の尊重	
休養日	○原則として日曜日を休養日とする。 ○作品制作、大会準備期間以外については適宜日曜日以外にも休養日を設定していく。 ○夏季、冬季休業期間は各部員の予定を集約したうえで、活動日を設定する。	
活動時間	○月～木 16:30～18:30 ○金 15:30～18:00 ○土 9:00～12:00 ※45分日課や大会前は変動あり	
月	参加予定大会等	その他
4月		新入生歓迎公演
5月		25日(土) 新人公演
6月	○8日(土) 下都賀地区演劇フェスティバル	
7月		
8月	○1日(木)～3日(土) 合宿講習会	
9月		1日(日) 栃高祭ワークショップ
10月	○19日(土)、20日(日) 県南ブロック大会	
11月	○16日(土)、17日(日) 県大会	
12月		
1月		
2月		
3月	○下旬(日程未定)とちぎ蔵の街高校演劇祭	

栃木県立栃木高等学校 音楽部の活動方針及び年間活動計画等

顧問名	◎川田 明良、大橋 秀人	
目標	<ul style="list-style-type: none"> ○部活動の実施に当たっては、生徒の安全第一を考えて実施する。 ○「より質の高い音楽」の実現を目指して、日頃の練習に取り組む。 ○管弦楽団員の増員に向けて、より魅力的な活動を模索する。 ○合唱団員を随時募り、合唱団の活動を再開する。 ○活動を通して、生涯にわたって楽器や歌を愛好する心を培う。 	
活動方針	○学業との両立を重視し、短時間で効率的な練習内容を考えることで、無理のない活動が行えるようにする。	
休養日	<ul style="list-style-type: none"> ○管弦楽団は原則として月、水、金の週3日を活動日とし、それ以外の火、木、土日祝日は休みとする。 ○合唱団は原則として火、木の週2日を活動日とし、それ以外の月、水、金、土日祝日は休みとする。 ○春期、夏期休業中は、演奏会等を控えていることも鑑み、月～金の週5日を活動日とするが、土日は休養日とする。 ○冬期休業中は、原則として全休とする。 	
活動時間	<ul style="list-style-type: none"> ○1日の活動時間は、平日1時間30分～2時間程度として18：30には完全下校とする。 ○長期休業中は、1日3～4時間程度の活動とする。 	
月	参加予定大会等	その他
4月		○5日（金）入学式
5月		
6月		
7月		
8月	○18日（日）栃高祭音楽部演奏会（栃木文化会館）	
9月	<ul style="list-style-type: none"> ○1日（日）第68回栃高祭（栃木高校） ○11日（水）栃高文連総合音楽祭 器楽管弦楽部門（宇都宮市文化会館） 	
10月		
11月	○13日（日）栃高文連実技講習会（栃木県教育会館）	
12月		
1月		
2月		
3月		○2日（月）卒業式

栃木県立栃木高等学校 化学部の活動方針及び年間活動計画等

顧問名	◎福田 圭司、阿部 友樹	
目標	<ul style="list-style-type: none"> ○活動にあたっては、生徒の安全を第一に考えて実施する。怪我等の防止に努め、生徒間の話し合いを重視する。 ○SSH全国発表会の学校代表、参加学会での入賞を目指す。 ○活動を通して、生徒の探究心を育成し、充実した学校生活を送ろうとする主体的な態度を養うとともに、生徒の学習意欲の向上や自己肯定感、責任感、連帯感の育成を目指す。 ○部員全員の学業成績の向上を目指す。 	
活動方針	<ul style="list-style-type: none"> ○生徒の健康管理に十分に配慮し、適正な休養日を確保する。 ○学校生活や授業等に支障のない範囲で、できるだけ短時間に、合理的で活効率的・効果的な活動を行う。 ○学会発表時には、宿泊を伴うことがある。その際、生徒の探究方法の技術の向上と生徒間の生徒同士や生徒と教師等の望ましい人間関係の構築を目的として、懇親的なミーティングを行う。 ○実験時の自己を予防するために、白衣・防護眼鏡の着用やドラフトを活用するなど、活動のリスクマネジメントを構築する。 	
休養日	<ul style="list-style-type: none"> ○原則として、毎週月、水、金曜日を活動日とし、それ以外を休養日とする。 ○実験の区切りで、データ計測等をまとめて行う場合や、発表会の直前には、火、木曜日の放課後、週末の終日を活動に当てることもあるが、その際も、土日のどちらか1日は休養日となるようにする。 ○長期休業中も、学期に準じた扱いとする。 ○8/11～8/16、12/29～1/3、3/29～4/3は、長期の休養期間とする。ただし、微生物を管理する実験を行っている期間の場合は、当番制で数名が活動することもある。 	
活動時間	<ul style="list-style-type: none"> ○1日の活動時間については、平日は2時間程度として19時には完全下校とする。 ○休業日の活動は、発表会前や、時間のかかるデータ計測になるために、8時間程度かかる場合もある。 ○定期試験初日の1週間前から定期試験実施期間（最終日を除く）は原則として活動を行わない。ただし、微生物を管理する実験を行っている期間の場合は、校長の承認を得て、当番制で数名が活動することもある。 	
月	参加予定大会等 (リン酸グループと表面積グループがある)	その他
4月		
5月		
6月		
7月		
8月	○リン酸グループ：6（火）～8（木）SSH全国発表会（神戸国際会議場）	
9月	○両グループ：15（日）巴川水質調査	
10月		
11月		
12月		
1月		
2月	<ul style="list-style-type: none"> ○両グループ：2（土）栃木高校SSH生徒研究発表会 ○両グループ：3（日）東京都立戸山高校SSH発表会参加 ○表面積グループ：日本化学工学会（日程未定） 	
3月	○リン酸グループ：27（金）～28（土）日本森林学会（名古屋大学）	

栃木県立栃木高等学校 語学部の活動方針及び年間活動計画等

顧問名	◎山口 敦子、相ヶ瀬 裕太、チャンドラー・シュルツ (ALT)	
目標	◎部活動を通して、学年を越えた生徒間の交流の中で、望ましい人間関係の構築を図るとともに、学習意欲を向上させ、自己肯定感、責任感、連帯感を育成する。 ◎安全管理を徹底し、生徒が安心安全に参加できる部活動運営を行う。 ◎部活動を通して、ディベートの技術力の向上を図るとともに、個性を伸長させ、ディベートを生涯にわたって楽しむ意欲と態度を養う。	
活動方針	◎活動を通し、主にスピーキング力、ライティング力および論理的思考力を伸ばす。 ◎学校生活や授業等に支障のない範囲で、できるだけ効果的な活動を行う。	
休養日	◎原則、平日は木曜日を活動日とし、それ以外を休養日とする。	
活動時間	◎平日は原則毎週木曜日の放課後に活動する。(ただし、ディベートの大会が近い時は、昼休みや放課後、毎日活動する時もある)	
月	参加予定大会等	その他
4月		
5月		
6月	◎16日(日) 英語ディベート春季大会(即興ディベート)	
7月		
8月		
9月		
10月		
11月	◎令和元年度全国高校生英語ディベート大会栃木県予選大会	
12月		
1月		
2月		
3月	◎英語ディベート冬季大会(即興ディベート)	

栃木県立栃木高等学校 写真部の活動方針及び年間活動計画等

顧問名	◎五月女 雅一、福田 貴洋	
目標	○撮影活動を通して、人や自然と触れ合いながら、カメラ撮影技術の向上を図る	
活動方針	○展覧会や写真展への出品を目指し、自主的・主体的な活動を行う。また、各学校行事の記録・撮影を行う。	
休養日	○土日祝日、平日3日	
活動時間	○週2日、放課後1～2時間程度	
月	参加予定大会等	その他
4月	○入学式	
5月	○栃高スポーツ祭	
6月	○芸術鑑賞会	
7月		
8月		
9月	○栃高祭	
10月		
11月	○栃高耐久レース ○創立記念式典	
12月		
1月		
2月	○SSH成果研究発表会	
3月	○卒業式	

栃木県立栃木高等学校 社会・史学部の活動方針及び年間活動計画等

顧問名	◎村越 弘、日野 直哉	
目標	○高校生が参加できる各種クイズ大会に出場して優勝を目指す。	
活動方針	○クイズに関する問題や各種情報を収集し、幅広い知識の習得に努める。	
休養日	○水曜日を除く週6日	
活動時間	○毎週水曜日 16:30~18:30	
月	参加予定大会等	その他
4月		
5月		
6月		
7月	○高校生クイズ地区予選会	
8月	○高校生クイズ全国大会	
9月		
10月		
11月		
12月		
1月		
2月		
3月		

栃木県立栃木高等学校 書道部の活動方針及び年間活動計画等

顧問名	◎鶴見 和夫、山口 敦子	
目標	○部活動の実施にあたっては、生徒の安全を第一に考えて実施する。 ○常に向上心を持って、主体的・積極的に日々の練習に取り組む。 ○県高校書道展や各種展覧会に於いて、上位入賞を目指す。 ○部活動を通して、生涯にわたり書を愛好する心を培う。 ○生徒の話し合いを重んじ、部員相互の豊かな人間関係の醸成を目指す。	
活動方針	○学業との両立を重視し、効率的な練習内容を考えることで、無理のない活動が行えるようにする。 ○生徒の健康管理に配慮し、特に熱中症予防対策を十分に行う。	
休養日	○原則として、毎週土曜日・日曜日を休養日とする。 ○春季、冬季休業中は原則として全休とする。	
活動時間	○一日の活動時間は、平日は2時間程度として19時には完全下校とする。 ○長期休業中は、一日3～4時間程度の活動とする。	
月	参加予定大会等	その他
4月		
5月	○31(金)～6/1(土) 栃高文連書道部会書道実技講習会(鹿沼市)	○2(木) とちぎ山車まつり 春の陣・書道パフォーマンス
6月		
7月		
8月	○16(金)～18(日) 書道部・美術部合同作品展(栃本市栃木文化会館) (15(木)作品飾り付け)	○4(日) 蔵の街サマーフェスタ 書道パフォーマンス
9月	○栃高祭での作品展示と書道パフォーマンスの実施 ○14(土)～15(日)(予定) 栃木市内高等学校合同書道展	
10月		
11月		
12月	○13(金)～16(月) 栃木県高等学校書道展	
1月		
2月		
3月		

栃木県立栃木高等学校 情報科学部の活動方針及び年間活動計画等

顧問名	◎野口 秀敏、加藤 達也	
目標	○放課後の時間を有効活用して情報機器にふれ、充実した学校生活を送ろうとする自発的・主体的な態度を養う。	
活動方針	○学年を越えた生徒間の交流の中で、望ましい人間関係の構築を図るとともに、パソコンスキルの向上を目指す。 (顧問と相談しながら、生徒の自主的な計画の立案によって活動方針を調整していく)	
休養日	○土日祝日、平日2～3日程度	
活動時間	○放課後2時間程度	
月	参加予定大会等	その他
4月	○(令和元年度当初時点では大会等への参加予定なし)	
5月		
6月		
7月		
8月		
9月		
10月		
11月		
12月		
1月		
2月		
3月		

栃木県立栃木高等学校 生物部の活動方針及び年間活動計画等

顧問名	◎室井 和也、野口 秀敏	
目標	◎充実した学校生活の一助になるように活動を支援する。 ◎生き物をよく観察させ、研究させ、その成果を記述させ、外部に発表させ、以て生物研究の楽しさを体感させる。	
活動方針	◎生徒の自主性を尊重して活動を支援する。 ◎実験器具等の取り扱いに十分留意し、安全を確保する。	
休養日	◎原則として、土曜日と日曜日は休みとする。また、原則として、平日のうち2日間は休みとする。 ◎長期休業中も、学期中に準じた扱いとする。	
活動時間	◎一日の活動時間は、90分程度として、18時半には完全下校とする。 ◎定期試験初日の1週間前から定期試験実施期間（最終日を除く）は原則として活動を行わない。ただし、当該機関においても、学会等参加の場合は、校長の承認を得て活動を実施することもある。	
月	参加予定大会等	その他
4月		◎25(木) SSHクラブ研究成果報告会
5月		
6月		
7月		
8月		
9月	◎1(日) 栃高祭 ◎日本植物学会第83回大会高校生研究ポスター発表	
10月		
11月		
12月		
1月		
2月	◎1(土) SSH生徒研究発表会	
3月		

栃木県立栃木高等学校 茶道部の活動方針及び年間活動計画等

顧問名	◎飯村 良宏、山崎 清、小泉 旬子	
目標	<ul style="list-style-type: none"> ○余暇を有効に活用して心身を鍛え、充実した学校生活を送ろうとする自発的主体的な態度を養う。 ○茶道を通じて日本文化の本質を学び、日常生活に豊かさやゆとりを持てるようにする。 ○学年を越えた生徒間や師弟間の交流の中で、望ましい人間関係の構築を図るとともに、学習意欲を向上させ、自己肯定感、責任感、連帯感を育成する。 ○作法の技能（点前の技術）の向上を図るとともに、個性の伸長と茶道を生涯に涉って楽しむ意欲態度を養う。 ○安全管理を徹底し、意識高揚を図りつつ、安心安全の部活動運営に努める。 	
活動方針	<ul style="list-style-type: none"> ○生徒の安全への配慮をきちんと行う。 ○美しい茶道の所作（お手前並びに立ち居振舞い）を心がけ、おもてなしの心を学ぶ。 ○釜のお湯等の扱いや電気器具の使用に注意し、やけどをしないようにする。 ○道具の破損等でけがをしないようにする。 ○保護者の理解と協力を得た活動に心がける。 ○金銭の取り扱いについて十分に配慮する。 	
休養日	○火曜日から木曜日および土曜日、日曜日	
活動時間	○月曜日 16:30～18:00 金曜日 15:30～18:00 ○後片付けを手早くさせ、学校を出る時間が遅くならないようにする。	
月	参加予定大会等	その他
4月		
5月		
6月		
7月		
8月	○上旬 南部地区茶華道部会 交流会	
9月		
10月		
11月		
12月		
1月		
2月		
3月		

栃木県立栃木高等学校 天文部の活動方針及び年間活動計画等

顧問名	◎加藤 良栄、栗原 道王	
目標	○学校祭での天文台公開にむけての機材メンテナンス・掃除 ○書籍等による天体や機材の勉強 ○天体観測	
活動方針	○2週に1回活動（火曜日） ○長期休業中は活動しない	
休養日	○活動日以外	
活動時間	○放課後18：30まで	
月	参加予定大会等	その他
4月		新入生オリエンテーション
5月		
6月		3年生引退・新部長選出・天文台掃除
7月		
8月		学校祭での天文台の公開に向けた掃除
9月		学校祭での天文台の公開
10月		
11月		
12月		
1月		
2月		
3月		

栃木県立栃木高等学校 美術部の活動方針及び年間活動計画等

顧問名	◎相沢 隆子、青柳 英司	
目標	○部活動の実施については、生徒の安全を考え、生徒の意向を尊重して話し合いながら行う。 ○高校美術展の入賞を目指す。 ○活動を通じて主体的な態度を養い、学業との両立に配慮し、バランスのとれた健全な心身の育成を目指す。	
活動方針	○学校生活や学業に支障のない範囲で、充実した制作活動を行う。 ○技術、表現力の向上を目指す。○生徒同士、生徒と教師との望ましい人間関係を構築できるように努力する。	
休養日	○原則（土）（日）祝日は活動を行わない。○展覧会前は、各自の進捗状況に応じて活動する。	
活動時間	○16:00～18:30 19:00完全下校 とする。	
月	参加予定大会等	その他
4月	○新入生を交えて、写生会を実施	
5月	○展覧会に向けて、各自制作	
6月	○展覧会に向けて、各自制作	
7月	○展覧会に向けて、各自制作	
8月	○8/16（金）～8/18（日）書道部・美術部合同展 ○8/30（日）栃高祭	8/16（金）8:30 学校集合 搬入準備
9月	○展覧会に向けて、各自制作	
10月	○展覧会に向けて、各自制作	
11月	○展覧会に向けて、各自制作	
12月	○第26回栃木県高校美術展 12/12（金）～12/16（月）	12/13（金）搬入、展示作業 12/16 搬出、片付け
1月	○デッサンおよび自由制作	
2月	○デッサンおよび自由制作	
3月	○デッサンおよび自由制作	

栃木県立栃木高等学校 物理部の活動方針及び年間活動計画等

顧問名	◎前田 幸男、栗原 道王	
目標	○活動を通して、生徒の探究心を育成し、学校生活における主体的な態度を養うとともに、学習意欲の向上や責任感、連帯感の育成を目指す。	
活動方針	○生徒の自主的な活動を尊重し、活動を支援する。 ○実験器具等の取り扱いに十分留意し、安全を確保する。	
休養日	○原則、平日は金曜日を活動日とし、それ以外を休養日とする。 ○長期休業中も、学期に準じた扱いとする。	
活動時間	○一日の活動時間は、90分程度とし、18時半には完全下校とする。 ○定期試験初日の1週間前から定期試験実施期間（最終日を除く）は原則活動を行わない。	
月	参加予定大会等	その他
4月		
5月		
6月		
7月		
8月		
9月	○1(日) 栃高祭	
10月		
11月		
12月		
1月		
2月	○1(土) SSH生徒研究発表会	
3月		

栃木県立栃木高等学校 放送部の活動方針及び年間活動計画等

顧問名	◎戸崎 敏嗣、上岡 富久	
目標	◎部活動の実施に当たっては、生徒の安全を第一に考えて実施する。 ◎部活動を通して、生徒が充実した学校生活を送ろうとする主体的な態度を養うとともに、生徒の学習意欲の向上や自己肯定感、責任感の育成を目指す。	
活動方針	◎基本的に对外活動（コンクール等）への参加は行わず、校内での活動とする。ただし、部員からの要望が出た場合は、話し合いの上検討することとする。 ◎校内の活動としては、平日清掃時の放送担当、集会時の放送設備の準備及び調整、学校祭時の放送関係の管理等とする。	
休養日	◎学校休業日は活動は行わない。	
活動時間	◎上記の通り、平日は清掃時前後を活動時間とするので、30分程度となる。また、集会時は集会の前から終了後までを活動時間とする。 ◎学校祭時は放送委員とともに分担して担当し、部員の担当は2～3時間にとどめる。	
月	参加予定大会等	その他
4月	◎大会参加はなし	清掃時放送担当 集会時放送設備準備調整
5月	同上	同上
6月	同上	同上
7月	同上	同上
8月	同上	同上 学校祭準備
9月	同上	同上 学校祭時の放送管理
10月	同上	同上
11月	同上	同上
12月	同上	同上
1月	同上	同上
2月	同上	同上
3月	同上	同上

栃木県立栃木高等学校 漫画創作部の活動方針及び年間活動計画等

顧問名	◎相沢 隆子、沼尾 孝志	
目標	○部活動の実施については、生徒の安全を考え、生徒の意向を尊重して話し合いながら行う。 ○まんが甲子園の入賞を目指す。 ○活動を通じて主体的な態度を養い、学業との両立に配慮し、バランスのとれた健全な心身の育成を目指す。	
活動方針	○学校生活や学業に支障のない範囲で、充実した制作活動を行う。 ○発想力、技術、表現力の向上を目指す。 ○生徒同士、生徒と教師との望ましい人間関係を構築できるように努力する。	
休養日	○原則（土）（日）祝日は活動を行わない。 ○締め切り前は、各自の進捗状況に応じて活動する。	
活動時間	○16:00～18:30 19:00完全下校 とする。	
月	参加予定大会等	その他
4月	○新入生に向けて、「よせなべ」発行	
5月	○まんが甲子園予選作品制作	
6月	○まんが甲子園予選作品発送、6月9日（日）消印有効 ○「よせなべ」原稿制作開始 ○6月20日（木）17:00予選結果発表	
7月	○まんが甲子園本選作品準備	
8月	○8/3（土）～8/4（日）まんが甲子園本選（於・高知市） ○8/30（日）栃高祭「よせなべ」発行	8/9（金）「よせなべ」原稿、印刷所に発送
9月	○次年度に向けて自主トレーニング	
10月	○次年度に向けて自主トレーニング	
11月	○次年度に向けて自主トレーニング	
12月	○「よせなべ」および「よせなべ」編集会議	
1月	○「よせなべ」および「よせなべ」原稿制作	
2月	○「よせなべ」および「よせなべ」原稿制作	
3月	○「よせなべ」および「よせなべ」原稿制作	3/24（火）「よせなべ」印刷